

第 2 章

省エネ成功事例から見る 進め方とポイント



この章では、実際の省エネ成功事例をもとに、省エネの取り組みを成功させるエッセンスについて学習していきます。

省エネの進め方の一般的なイメージ

冷暖房設備の入替え



ボイラー設備の入替え



照明のLED化



省エネ  設備投資 

設備投資以外の省エネ取り組み事例

- エネルギー管理チームを結成して対策会議を月1回実施
- 従業員の意見を収集するための意見箱を設置
- エネルギー使用量を計測・データ化して把握
- 工場の機械の運転開始時間の見直し
(機械の電源を同時に入れないなど)
- 機械の保温、エア漏れの修復
- 休日出勤の廃止および出勤時間の調整



省エネ成功の3つのポイント

- ✓ 省エネに会社全体で取り組んだこと
全社員の意見を幅広く収集し、挙げた意見は否定しない。
- ✓ エネルギー使用状況など、現状の見える化を実施したこと
状況を俯瞰してとらえることができ、対策を講じやすくなる。
- ✓ 機械・設備の性能発揮や作業者の効率を見直したこと
勤務時間や作業工程などの「いつも通り」に隠れている無駄を見つけて見直す。
現状を「当たり前」と思わない意識が重要。

省エネ対策のはじめの一步

その1 セルフ診断ツール



- インターネット上で無料で診断が可能。
- 約13,000件の診断実績からAIが削減メニューを提案してくれる。

(一財)省エネルギーセンター
省エネ・節電ポータルサイトから引用
▶ <https://www.shindan-net.jp/selfcheck/>

省エネ対策のはじめの一步

その2 省エネルギー診断



- 省エネの専門家が直接現場で診断する。
- 診断結果にあわせて、省エネ方策や運用改善、現設備の最適化等を提案してくれる。
- 診断費用は最高16,000円程度*1
 - *1:令和4年度実施時の金額。次年度実施内容によって金額変動の可能性あり。

(一社)環境共創イニシアチブHPから引用

▶ <https://shoeneshindan.jp/>

事例から見る省エネ診断の効果



食品加工会社 A社の事例

エネルギー価格の高騰を受けて、社内で省エネに取り組み始めるも、効果なし

生産設備（乾燥機）とボイラの省エネ診断を依頼

診断の結果、「熱エネルギーの損失が大きい」ことが判明

- ① 蒸気ドレン配管をボイラ給水タンクまで延長し、ドレン水を回収、
- ② ボイラ給水タンクを保温といった対策を講じる

低コストで年間9.0kℓのエネルギー量削減に成功！

省エネ効果が見込める工夫の例

- エアー漏れを修繕する
- 設備を保温して熱損失を防止する
- 照明の角度調節やカバーの取り付けをする
- 流量計や電気メーターで数値を管理する など

工場



病院



ショッピングモール



学校



温泉施設



ホテル



製造業に限らず、様々なシーンで効果が期待できる

経営者・管理職の方々へのメッセージ

会社のエネルギー管理を担当者任せにしていますか？

省エネ・環境配慮  余計な手間

省エネの知識・技術・取組み

||

経費削減・新規ビジネス・企業PRのチャンス！


現場の方々へのメッセージ



「いつもやっている、当たり前のことだから…」
「昔からこうやってるから…」

それは本当に必要なものですか？

“当たり前”の中に無駄はないか、見直してみましょう！

第2章 まとめ

- 省エネの実施方法は設備投資だけではない。
- 現状の見える化がとくに重要で、診断ツールや診断依頼などを活用することもできる。

ご視聴ありがとうございました

NEXT ▶ 第 3 章

省エネ法における特定事業者と指定工場